

令和2年度 第12回 政策決定会議 会議録①

◆開催日時:令和2年12月14日(月) 16:00~16:10

◆開催場所:市長公室

◆出席委員:永野市長、堤副市長、大下教育長

◆審議事項

・中央公園における Park-PFI 導入に向けたサウンディング調査の実施について

……水とみどり課⇒承認

◆審議概要

『中央公園における Park-PFI 導入に向けたサウンディング調査の実施について』

〈説明者〉吉田建設部長、原水とみどり課長、渡邊整備担当参事、門前主任

◎説明者から、案件及び政策調整会議における議論の内容を説明し、政策調整会議にて本件原案どおり承認された旨、報告。

※案件内容は付議依頼書に基づき説明。政策調整会議における議論内容は、以下のとおり。

【政策調整会議における議論内容】

- ① 中央公園の全体計画との整合性や指定管理者との関係に考慮した上で、中央公園全体の活用可能性についても、今回のサウンディング調査で参考にヒアリングを行うこと。
- ② 計画地への進入路などが、周辺の土地利用への影響が想定されるため、提案内容を確認の上、検討すること。
- ③ 市所有の公園を優先しているが、今後、市全体の公園における P-PFI の導入についても関係機関と調整し、検討を進めること。

◎報告後、質疑応答

〈堤副市長〉前回の大門公園に続いて、中央公園を対象としたサウンディング調査を行うとのことだが、市全体の公園のあり方について逐次報告してほしい。

〈水とみどり課長〉平成 29 年度に策定した「みどりの基本計画」における公園整備方針について、現在市が用地を所有している都市計画公園を優先して整備を進めることとしている大門・中央・大路の3公園を検討することとしており、その他の都市公園や児童遊園、その他の公園等、市全体としてどのように維持管理していくのか、課内で検討中であり、改めて報告させていただく。

〈市長〉今回のサウンディング調査で良い意見が出ることを期待する。

〈水とみどり課長〉先般の大門公園が年度内にサウンディング調査の結果を公表したいと考えており、今回の中央公園についても、大門公園と同様に年度内にサウンディング調査の結果を公表できるよう進める。

〈市 長〉通常のサウンディング調査の期間設定と比べ、タイトなスケジュールか。

〈渡邊整備担当参事〉事業者の検討時間は少し短いかもしれないが、スケジュール的には、適切な期間であると考ええる。

〈堤 副 市 長〉大門公園のサウンディング調査に追いつくようスピードアップして進めるように。

〈総合政策部長〉本案件について、原案どおり承認してよろしいか。

【異議なし】

⇒本件を、原案のとおり承認する。

令和2年 11 月 26 日

政策調整会議付議依頼書

依頼者名 建設部長

下記事項について、効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第 14 条の規定に基づき、下記のとおり付議を依頼します。

記

| | |
|----------------------------------|---|
| 付議事項名 | 中央公園における Park-PFI 導入に向けたサウンディング調査の実施について |
| 付議の目的 (ポイントを絞り込んで、簡潔に記載すること。) | 中央公園は、市域中央部に位置し、運動広場やテニスコート、プールなど各種スポーツ施設や遊戯施設などを有する総合公園として、多くの市民に親しまれている。 今般、中央公園内の未活用地において、民間事業者による収益施設の設置、管理に関する公募設置管理制度(Park-PFI)の活用を目指し、サウンディング型市場調査の実施について付議するものである。 |
| 説明者 | 建設部 吉田部長 水とみどり課 原課長、渡邊整備担当参事、門前主任 |
| 付議事項の概要 | 別紙のとおり |

別紙

| | |
|------|--|
| 付議会議 | 令和2年度 第12回会議 |
| 付議事項 | 中央公園におけるPark-PFI導入に向けたサウンディング調査の実施について |

★取組の目的

| | |
|-------------|-------------------------------------|
| 対象 | 都市公園利用促進 |
| どのような状態を目指す | 中央公園の未活用地において民間事業者による交流と憩いの拠点整備を目指す |

★総合計画上の位置付け

| | | |
|-------------------------------|--------|-------------------------------------|
| 107010101 | 基本目標 | I-7 豊かな自然を未来につなぐ |
| ↑ここにコードを入力 (コードは「総計体系」を参照) | 達成された姿 | (2)心安らぐ場所が身近にある |
| | 目指す成果 | ①公園を快適に利用している |
| | 行政の役割 | ア 利用者の視点に立ち、市民に親しまれる親水空間や公園づくりを推進する |

★現状と課題

都市公園においては、社会の成熟化と市民の価値観の多様化を踏まえ、民間との連携による公園の魅力を上させつつ、柔軟な発想により公園のポテンシャルを高めるよう都市公園法が平成29年度に改正された。
 こうした背景のもと、平成30年3月に見直しを行った「岸和田市みどりの基本計画」の基本方針である「みどりの創出に係る施策」において、公共還元型の収益施設等による都市公園の活性化を図ることを規定しており、中央公園内のヤッペン競技場として整備したものの未活用地となっている区域において、民間事業者による交流と憩いの拠点整備を目指し、サウンディング型市場調査を実施するものである。

(単位:千円)

| 実施中の取組及び予定する事項 | 決算(見込額) | | 予算額 | 見込額 | | | | |
|--------------------------|---------|------|------|------|------|------|------|------|
| | H30年度 | R1年度 | R2年度 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
| 中央公園の整備に係るサウンディング調査 | | | 0 | | | | | |
| 公募設置等指針策定及び告示、公募設置等計画の受付 | | | | 0 | | | | |
| 事業者の選定 | | | | 100 | | | | |
| 公募設置等計画の認定・告示 | | | | | 0 | | | |
| 協定等の締結 | | | | | 0 | | | |
| 事業実施に係る監督等 | | | | | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 財源内訳 | 国費 | | | | | | | |
| | 府費 | | | | | | | |
| | 起債 | | | | | | | |
| | 一般財源 | | | | 100 | | | |
| | その他 | | | | | | | |
| 事業費 | | | 計 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
| | | | 100 | 100 | 0 | 0 | 0 | 0 |

0
100

★当該事項に関連する人員増の必要性*

| | | | | | |
|---------|------|------|------|------|------|
| 人員増の必要性 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
| 有 | 未定 | 未定 | 未定 | 未定 | 未定 |
| 無 | | | | | |

★取組の効果を表す指標

| 指標名 | 単位 | 目標値 | | | | | | | | |
|----------------------------------|----|-------|------|------|------|------|------|------|------|--|
| | | H30年度 | R1年度 | R2年度 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | |
| ① 心安らぐ公園や親水空間などが身近にあると感じている市民の割合 | % | 37.2 | 36.7 | 39.1 | | 38.5 | | | | |
| ② | | | | | | | | | | |

※事業費及び人員を確約するものではない。